

どうする どうなるグリーンベル21 出店補助金に1億円 建物点検 改修はこれから テナント出店はだいじょうぶ?

昨年すべてを取得したグリーンベル21について市長は、「市役所の移転も視野に入れ、公共と民間のテナントなどの複合施設として活用したい」との考えを示し、新年度予算ではテナント出店の補助金として、1億円が計上されましたが、新年度から建物の点検や改修がおこなわれるため、活用ができるようになる時期は不明です。

テナントの募集は、これからはじめられますが、出店がなければ1億円の補助金が無駄になってしまいます。

3月31日現在の沼田市の貯金である財政調整基金は、約45億円あり、テナント出店が内定した時に補正予算で充分対応することができ、1億円ものお金を使うなら市長の公約だった保育料の無料化など子育て支援や市民の生活を支えることに使うべきです。

介護保険料の引き上げを中止し安心できる介護制度を

大東議員は、一般質問で介護保険料の引き上げを中止し、安心できる介護の充実を求めました。

市長は、「平成18年度と平成24年度の比較で、要介護認定者が33.7%増加し、利用者は32.9%の増加。介護保険料は41,700円から52,600円に増加した」ことを明らかにし、新年度からの介護保険料については、「本市独自の調整を図り、新第2段階において軽減をおこなった」と答えました。

大東議員は、一般会計からの繰り入れをおこない、介護保険料の引き上げを中止し、安心できる介護保険制度とすることを求めました。

年金引き下げの流れを止めることを求める意見書を採択

全日本年金者組合群馬県本部と利根支部から提出された、「年金引き下げの流れを止めることを国に求める請願書」が、採択され、「年金引き下げの流れを止めることを国に求める意見書」が提出されました。

意見書では、高齢者が安心して高齢期を送れるようにすることが国や地方自体の重要な課題であり、年金が地方経済に大きな影響を与えており、高齢者の生活を困難にし、地域経済に悪影響を与える年金削減を中止することを求めています。

小学校471人 中学校489人が卒業

思い出いっぱいの学校から新たな旅立ちへ

中学校の卒業式が13日おこなわれ、市内9校の中学校で489人が卒業し、小学校では25日に卒業式がおこなわれ、13校で471人が卒業しました。

子どもたちは、思い出いっぱいの学校から元気に新たな一歩を踏み出しました。



小学校で卒業生が最も多かったのは、薄根小学校の74人で、中学校では、沼田中学校の122人でした。

2015年3月29日

NO. 434

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



新たな武器使用基準の適用も検討し、現場指揮官の判断で一気に「平時」から「戦時」に突きすすむ危険もあり、こんな危険な「戦争立法」の法案化作業をただちに中止させる必要があります。

「梓組みを設定する」とし、これまで「戦闘地域」としてきた地域でも派兵が可能とし、

「戦後」に踏み込み「殺し・殺される」危険を現実のものにしています。

合意文書は昨年閣議決定に基づいて、「他国の武力行使との一体化」について新たな

「梓組みを設定する」とし、これまで「戦闘地域」としてきた地域でも派兵が可能とし、

「戦時」に突きすすむ危険もあり、こんな危険な「戦争立法」の法案化作業をただちに中止させる必要があります。

こんにちは 大東のぶゆきです

続ぶらい散歩 めまた道 利南地区あれこれ 特別編その二十五

浜松の局の墓

戸鹿野町の東源寺には、真田五代城主の真田伊賀守信利の側室だった、浜松の局の墓があります。

東源寺は、浄土宗で正覚寺の末寺の一つで開基は、承応元年(1652)、浜松の局が正覚寺の鉄山和尚に帰依し、隠居寺として開いたといわれています。

東源寺で最近、浜松の局の三六〇回忌の法要がおこなわれました。

諏訪石

沼須町にある「諏訪石」は、農業と水の神として長い間、人々から信仰されてきました。

片品川は何度も氾濫しましたが、「諏訪石」は流されることなく、残されてきました。

